

第2回 加賀市立学校施設の在り方に関する検討会議

日 時：令和8年8月25日（火） 18：30～

場 所：加賀市市民会館 2階 第2会議室

会 議 次 第

1 開 会

2 教育長あいさつ

3 議 事

（1）アンケート調査の結果について

（2）構造化の結果について

（3）学校施設の在り方の論点整理

4 閉 会

学校施設の在り方に関するアンケート調査の結果について

【アンケート期間】

令和8年7月6日（月）から令和8年7月26日（日）まで

【回答数・率】

合計：3,813 件

- ① 市内の学校に通う小学校および義務教育学校の4年生から6年生までの児童
回答数：1,235 件、回答率：97.5%（対象人数：1,267 人）
- ② 中学校1年生から3年生及び義務教育学校7年生から9年生までの生徒
回答数：998 件、回答率：70.9%（対象人数：1,407 人）
- ③ 未就学児から中学校3年生（義務教育学校9年生）までの保護者
回答数：965 件、回答率：約9.7%（対象人数：約10,000 人）
- ④ 市内小中学校・義務教育学校の教職員、学校運営協議会委員・地域学校協働活動推進員
回答数：416 件、回答率：75.8%（対象人数：549 人）
- ⑤ 上記以外の市民
回答数：199 件、回答率：約0.5%（対象人数：約37,000 人※16歳～80歳人口）

【アンケートの方法】

Web アンケート

<参考：標本誤差>

標本調査（母集団から一部の標本を抽出して行う調査）を行って母集団値を推定する際に生じる、標本値と母集団値との差。

この誤差がどの範囲の大きさで生じるかは、確率論に基づいて一定の式で計算することができる。標本誤差は抽出数を多くするほど小さくなり、また母集団内での個別データのバラツキが小さいほど小さくなる。

標本誤差					
回答者数 (n)	各回答の比率 10%（又は90%）	各回答の比率 20%（又は80%）	各回答の比率 30%（又は70%）	各回答の比率 40%（又は60%）	各回答の比率50%
1,000	±1.9% (8.1%～11.9%)	±2.5% (17.5%～22.5%)	±2.8% (27.2%～32.8%)	±3.0% (37.0%～43.0%)	±3.1% (46.9%～53.1%)
500	±2.6% (7.4%～12.6%)	±3.5% (16.5%～23.5%)	±4.0% (26.0%～34.0%)	±4.3% (35.7%～44.3%)	±4.4% (45.6%～54.4%)
300	±3.4% (6.6%～13.4%)	±4.5% (15.5%～24.5%)	±5.2% (24.8%～35.2%)	±5.5% (34.5%～45.5%)	±5.7% (44.3%～55.7%)
200	±4.2% (5.8%～14.2%)	±5.5% (14.5%～25.5%)	±6.4% (23.6%～36.4%)	±6.8% (33.2%～46.8%)	±6.9% (43.1%～56.9%)
100	±5.9% (4.1%～15.9%)	±7.8% (12.2%～27.8%)	±9.0% (21.0%～39.0%)	±9.6% (30.4%～49.6%)	±9.8% (40.2%～59.8%)

<参考>

アンケートの集計は、スペースの関係上、選択肢を短縮して記載してあります。ニュアンスが異なる可能性がありますので、正確な選択肢と見比べてご覧ください。

《小4～6年生・中学生向けアンケート設問》

	1. あなた自身のことについてお聞きします。
小学生	Q1 あなたの通っている学校を教えてください。(1つ選択) A1 ①錦城小、②錦城東小、③三谷小、④南郷小、⑤片山津小、⑥金明小、⑦湖北小 ⑧動橋小、⑨分校小、⑩作見小、⑪山代小、⑫庄小、⑬東谷口小、⑭勅使小、 ⑮山中小、⑯河南小、⑰橋立海青学園
中学生	A1 ①錦城中、②片山津中、③東和中、④山代中、⑤山山中、⑥橋立海青学園
	2. 小中学校の学校の安全・安心や在り方についてお聞きします。
共通	Q2 学校施設に何があれば、より安心だと感じますか。(最大3つ選択) A2 ① 外から人やクマが入らないようにするフェンス ② 校門などで、学校への出入りを確認する防犯カメラ ③ 送り迎えのときに安全に乗り降りができる場所 ④ カラーボール(知らない人が学校に入ってきて、逃げる時、あとで警察などに捕まえてもらえるよう、目印をつけるためのボール) ⑤ クマよけスプレー ⑥ 防災ヘルメット・防災頭巾 ⑦ その他(ご自由にお書きください)
共通	Q3 市内の学校の数や場所を決めるとき、安全のほかに、どのような点が特に重要だと思いますか。(最大3つ選択) A3 ① 1クラスのクラスメイトの数や1学年のクラス数がある程度多く、いろいろな活動などにつながる事 ② 1クラスのクラスメイトの数や1学年のクラス数がある程度少なく、きめ細かな教育などにつながる事 ③ クラス替えがあること ④ 小学校から中学校へ進学するときに、環境の変化が小さいこと ⑤ 通学時間 ⑥ 先生が連携して仕事がしやすいこと ⑦ 子どもや保護者の声が学校に届きやすいこと ⑧ 学校と地域との結びつきが強いこと ⑨ 施設を直したり整備したりすることにより、より快適な学習環境にすること ⑩ 給食がより安定的に実施できる施設であること ⑪ その他(ご自由にお書きください)

共通	3. クラスの数とクラスメイトの人数についてお聞きします。	
	Q4	学校のクラスの数とクラスメイトの人数はどのくらいが良いと思いますか。(1つ選択)
	A4	①今より多い方がいい、②今より少ない方がいい、③ちょうどいい、④分からない
	Q5	(A4で①～③の人のみ) 前問のように答えた理由として、あなたの考えに近いものを選んでください。(最大3つ選択)
	A5	① 多くの友達ができ、いろいろな交流がありそう ② 一人ひとりにあわせて、ていねいに教えてもらえそう ③ クラスどうしで楽しく競争や交流ができそう ④ 複数の学年が一緒になった活動などがやりやすそう ⑤ 運動会や遠足などの行事や活動が大勢で盛り上がりそう ⑥ 運動会や遠足などの行事や活動で一人ひとりの意見が取り入れやすそう ⑦ 授業や休み時間などに、いろいろな活動ができそう ⑧ 授業や休み時間などに、運動場や体育館などを自由に使いそう ⑨ 学校の先生がみんな一緒になって対応してくれそう ⑩ その他(ご自由にお書きください)
共通	4. 学校へ行く方法と時間についてお聞きします。	
	Q6	いつも、どのような方法で学校へ通っていますか。(1つ選択)
	A6	①徒歩、②スクールバス、③保護者送迎、④公共交通機関、⑤自転車、⑥その他
	Q7	いつも、家を出てから学校につくまでの時間は、どのくらいですか。(1つ選択)
	A7	①15分まで、②30分まで、③45分まで、④60分まで、⑤分からない
	Q8	学校に行くときは、どのような方法で通うと良いと思いますか。(いくつでも)
	A8	①徒歩、②スクールバス、③保護者送迎、④公共交通機関、⑤自転車、⑥その他
	Q9	家を出てから学校につくまでの時間は、どのくらいが良いと思いますか。(1つ選択)
	A9	①15分まで、②30分まで、③45分まで、④60分まで、⑤時間は気にしない

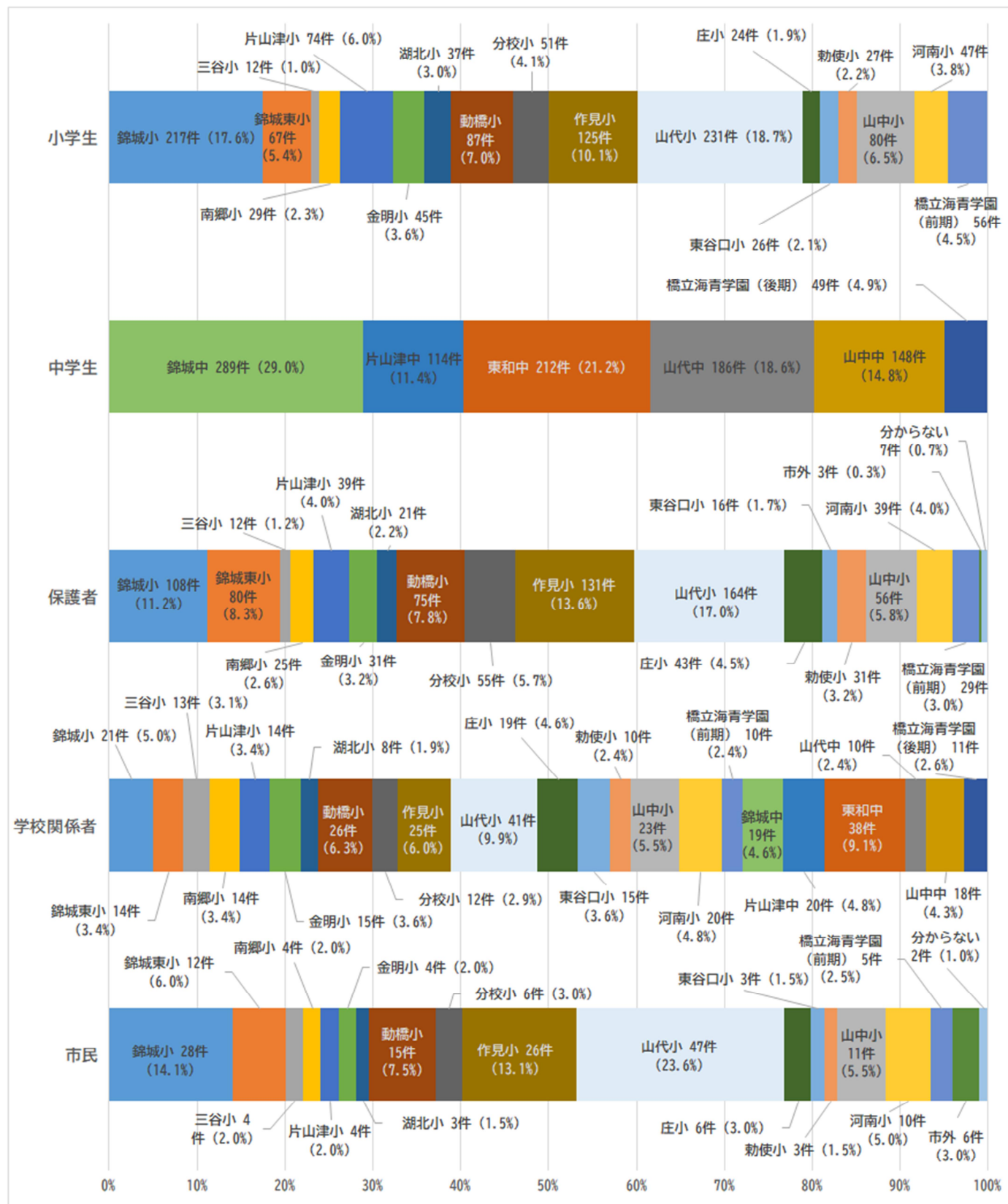
《保護者、市民、学校関係者向けアンケート設問》

	1. あなた自身のことについてお聞きします。
保護者、市民	Q1-1 あなたの年齢について教えてください。(1つ選択)
	A1-1 ①20歳未満、②20歳代、③30歳代、④40歳代、⑤50歳代、⑥60歳代、⑦70歳以上
	Q1-2 あなたの同居する家族について教えてください。(いくつでも)
	A1-2 ①未就学児がいる、②小学生がいる、③中学生がいる、④高校生がいる、 ⑤当てはまるものは無い
	Q1-3 あなたのお住いの地域の小学校を教えてください。(1つ選択)
	A1-3 ①錦城小、②錦城東小、③三谷小、④南郷小、⑤片山津小、⑥金明小、⑦湖北小 ⑧動橋小、⑨分校小、⑩作見小、⑪山代小、⑫庄小、⑬東谷口小、⑭勅使小、 ⑮山中小、⑯河南小、⑰橋立海青学園、⑱市外、⑲分からない
教職員	Q1 あなたのお勤めの学校を教えてください。(1つ選択)
	A1 ①錦城小、②錦城東小、③三谷小、④南郷小、⑤片山津小、⑥金明小、⑦湖北小 ⑧動橋小、⑨分校小、⑩作見小、⑪山代小、⑫庄小、⑬東谷口小、⑭勅使小、 ⑮山中小、⑯河南小、⑰橋立海青学園(前期)、⑱錦城中、⑲片山津中、 ⑳東和中、㉑山代中、㉒山中中、㉓橋立海青学園(後期)
コミスク委員・SC	Q1 あなたが携わっている学校を教えてください。(1つ選択)
	A1 ①錦城小、②錦城東小、③三谷小、④南郷小、⑤片山津小、⑥金明小、⑦湖北小 ⑧動橋小、⑨分校小、⑩作見小、⑪山代小、⑫庄小、⑬東谷口小、⑭勅使小、 ⑮山中小、⑯河南小、⑰橋立海青学園(前期)、⑱錦城中、⑲片山津中、 ⑳東和中、㉑山代中、㉒山中中、㉓橋立海青学園(後期)
	2. 小中学校の学校施設の安全・安心や在り方についてお聞きします。
共通	Q2 学校施設にどのような設備があればより安心だと感じますか。(最大3つ選択)
	A2 ①敷地外からのよじ登りや乗り越えを防ぐ防犯フェンス・忍び返し ②校門などにおける学校への出入りが確認できる防犯カメラ ③送迎の際、安全に乗り降りができる場所 ④逃走する不審者の目印用のカラーボール ⑤熊よけスプレーなどの鳥獣害対策グッズの常備 ⑥一人ひとりの防災ヘルメット・防災頭巾 ⑦その他(ご自由に記載ください)

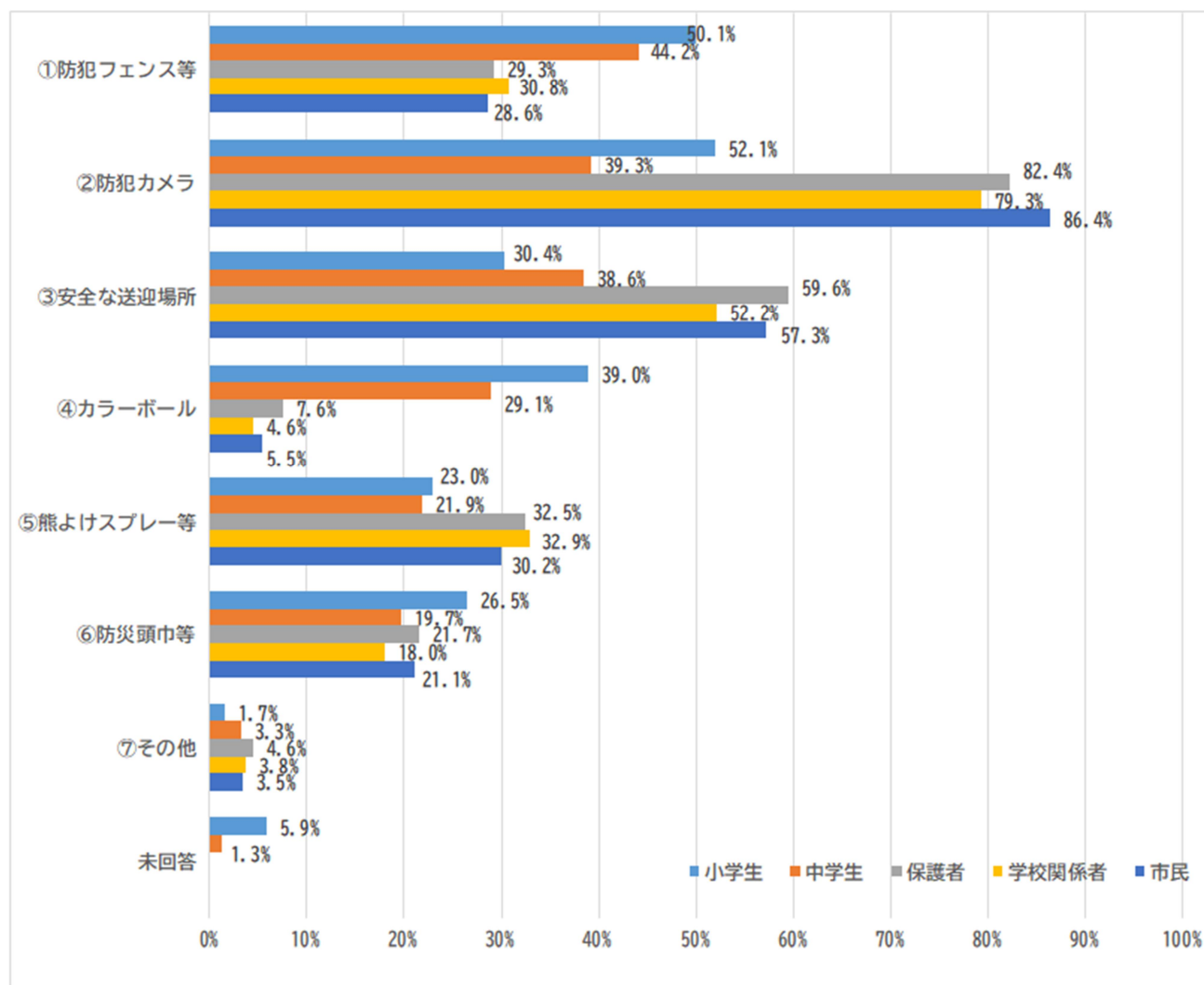
共通	Q3 学校施設の在り方（数や配置など）において、安全確保の他に、どのような点が特に重要だと思われますか。（最大3つ選択） A3 ① 1学級の児童生徒数や同学年の学級数がある程度多く、多様な活動などにつながる こと ② 1学級の児童生徒数や同学年の学級数がある程度少なく、きめ細かな教育などにつながる こと ③ クラス替えがあること ④ 小学校・中学校の間での環境の変化が小さいこと ⑤ 通学時間 ⑥ 教職員が連携した組織的な体制が確保しやすいこと ⑦ 子どもや保護者の声が学校に届きやすいこと ⑧ 学校と地域との結びつきを強めやすいこと ⑨ 施設の修繕や環境整備などにより、より快適な学習環境で学びやすいこと ⑩ 給食がより安定的に実施できる施設であること ⑪ その他（避難所としての観点、維持管理や改修費の観点など、ご自由に記載ください）
	3. 小中学校の学級数及び児童生徒数についてお聞きします。 Q4 学校には、1学年あたりおおむね何学級で、1学級には何人いるのが理想的だと思いますか。（各1つ選択） A4-1 1学年：①1学級、②2学級、③3学級以上、④複式学級（複数学年を1学級にまとめること）、⑤一概に言えない A4-2 1学級：①10人以下、②11～20人、③21人～30人、④31人以上、⑤一概に言えない Q5 （A4-1で①～④の人またはA4-2で①～④の人のみ） 前問のように答えた理由として、あなたの考えに近いものを選んでください。（最大3つ選択） A5 ① 多くの友達ができ、多様な交流がありそう（人間関係が固定化されにくそう） ② 一人ひとりに応じた、きめ細かな支援が受けられそう ③ 学級どうしで切磋琢磨したり、学級間で交流ができそう ④ 学年を越えた一体的な活動などが実施しやすそう ⑤ 運動会や遠足などの行事や活動が大勢で盛り上がりそう ⑥ 運動会や遠足などの行事や活動で一人ひとりの意見が取り入れやすそう ⑦ 授業や休み時間などに多様な活動ができそう ⑧ 授業や休み時間などに運動場や体育館などを柔軟に活用できそう ⑨ 担任以外の教職員も一体となった組織的な学校の対応につながりやすそう ⑩ その他（ご自由に記載ください）

共通	4. 通学方法と通学時間についてお聞きします。	
	Q6	小学生の通学方法として、どのような方法が良いと思いますか。(いくつでも)
	A6	①徒歩、②スクールバス、③保護者送迎、④公共交通機関、⑤自転車、⑥その他
	Q7	小学生の片道の通学時間は、どのくらいが許容範囲だと思いますか。(1つ選択)
	A7	①15分まで、②30分まで、③45分まで、④60分まで、⑤時間は問わない
	Q8	中学生の通学方法として、どのような方法が良いと思いますか。(いくつでも)
共通	A8	①徒歩、②スクールバス、③保護者送迎、④公共交通機関、⑤自転車、⑥その他
	Q9	中学生の片道の通学時間は、どのくらいが許容範囲だと思いますか。(1つ選択)
	A9	①15分まで、②30分まで、③45分まで、④60分まで、⑤時間は問わない
	5. 学びについてお聞きします。	
	Q10	より豊かな学びの実現等のため、学習内容面のほかに重要なことは何だと思われますか。(いくつでも)
	A10	【クラスに関すること】 ① クラス替えができること。 ② 一人ひとりに応じた、きめ細かな支援が受けられること。 ③ 運動会や合唱などの集団活動・集団学習に制約が生じないこと。 ④ 学年を越えた一体的な活動ができること。 ⑤ 多様な価値観に触れさせられること。 ⑥ 行事や活動で一人ひとりの意見が取り入れられること。 【教職員に関すること】 ※一般論として、児童生徒数の減少に応じて、法律に基づく学校の教職員定数は減少します。 ⑦ 複数学年や複数教科、免許外教科の担当など、負担の大きい事務がないこと。 ⑧ 教材研究や生徒指導について相談する時間や相手がいること。 ⑨ 例えば産育休時などの代替職員の確保が容易であること。 ⑩ 習熟度別指導、専科指導などの多様な指導方法を取れること。 ⑪ 研修や他校等での研究協議会等に参加するための人繰りができること。 ⑫ 教育支援員など、市独自の職員が配置・確保できること。 【施設等に関すること】 ⑬ 施設・設備が十分に新しいこと。 ⑭ 創造性など刺激される空間であること。 ⑮ 不審者等への対策ができていること。 ⑯ 通学路の安全が確保されていること。 【その他】 ⑰ その他(ご自由に記載ください)

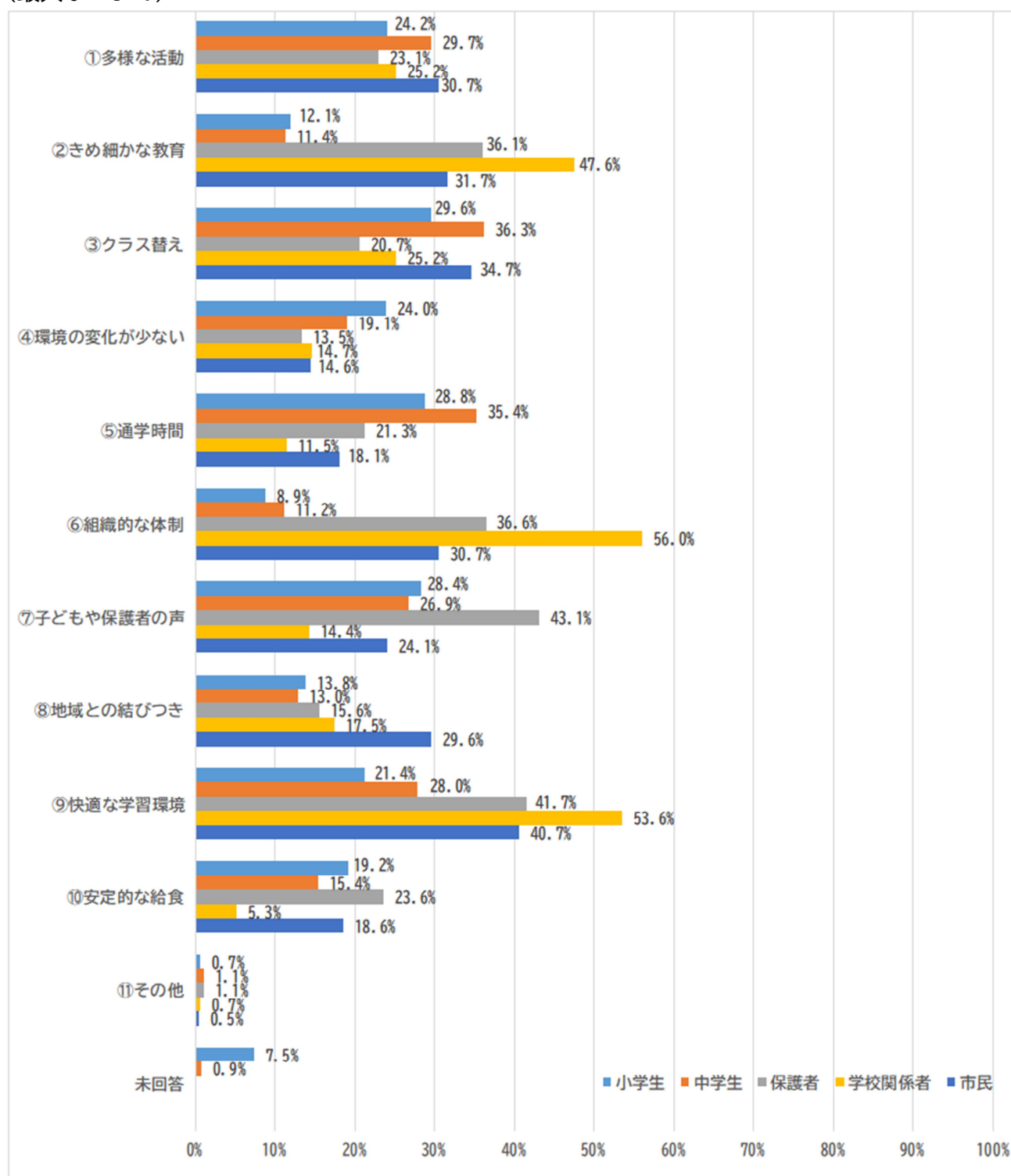
1. あなた自身のことについてお聞きます。



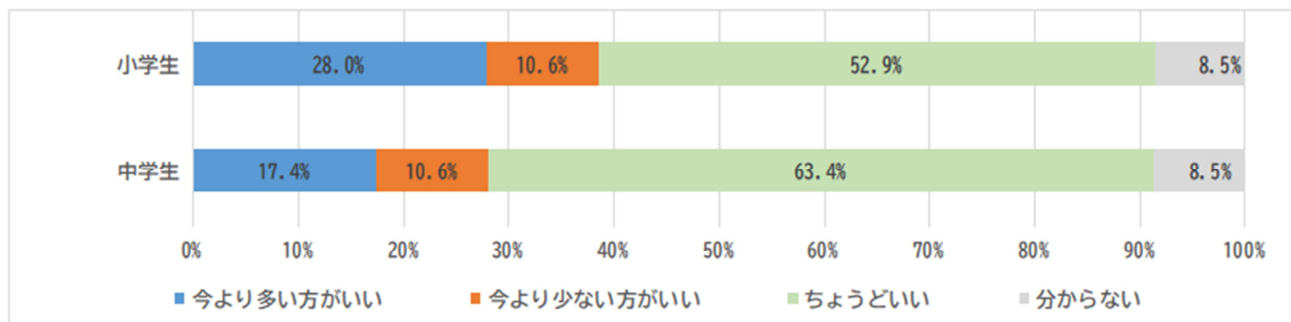
Q2. 学校施設に何があれば、より安心だと感じますか(最大3つまで)



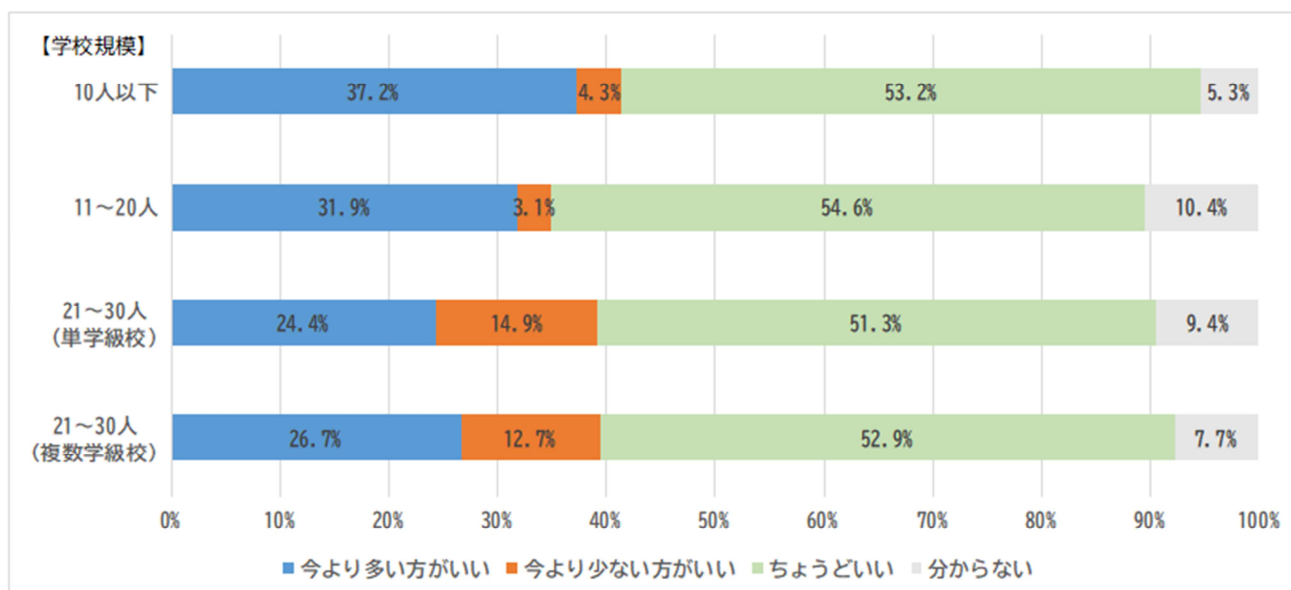
Q3. 市内の学校の数や場所を決めるとき、安全のほかに、どのような点が特に重要だと思いますか
(最大3つまで)



Q4. 学校のクラスの数とクラスメイトの人数はどのくらいが良いと思いますか（小中学生のみ）



うち、小学校の学校規模別（1クラスあたりの人数と学級数別）

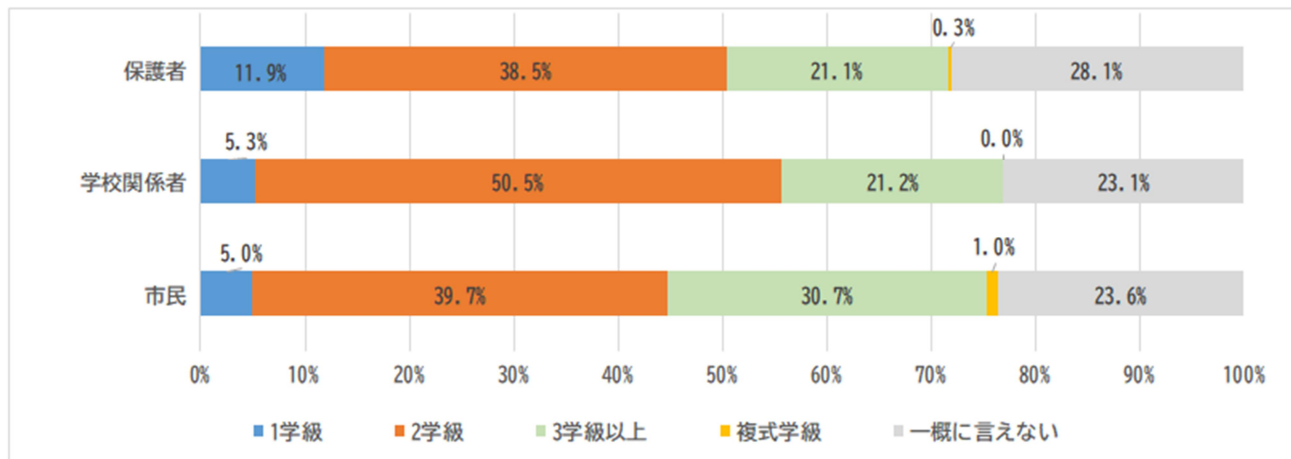


【小学校の学校規模の分類】

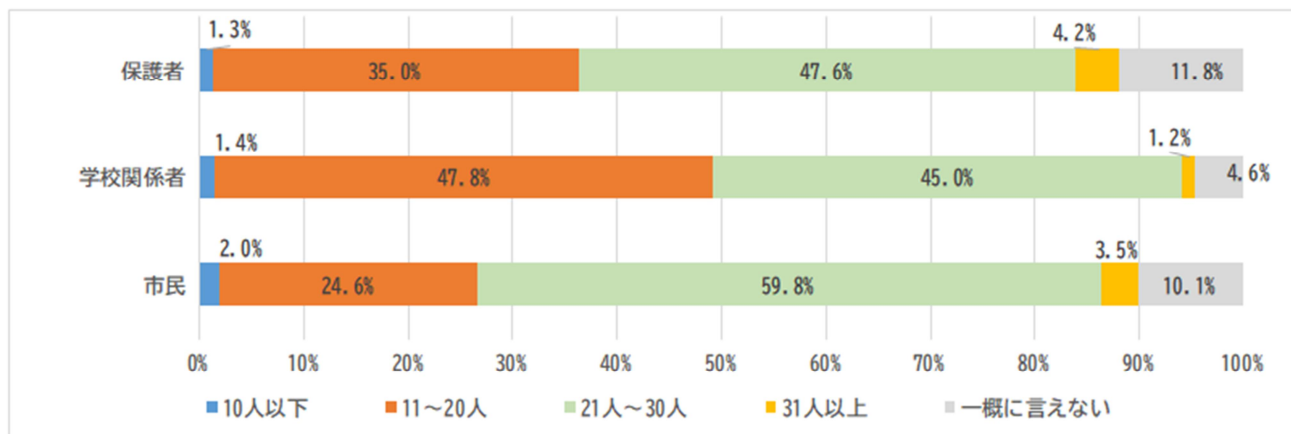
- ①10人以下：4校（児童数が約60人以下：三谷、南郷、東谷口、勅使）
- ②11～20人：6校（児童数が約120人以下：金明、湖北、分校、庄、河南、橋立前期）
- ③21～30人（単学級校）：4校（児童数が約180人以下：錦城東、片山津、動橋、山中）
- ④21～30人（複数学級校）：3校（常時2学級以上ある：錦城小、作見小、山代小）

※山代小のみ3クラス、他2校は2クラス

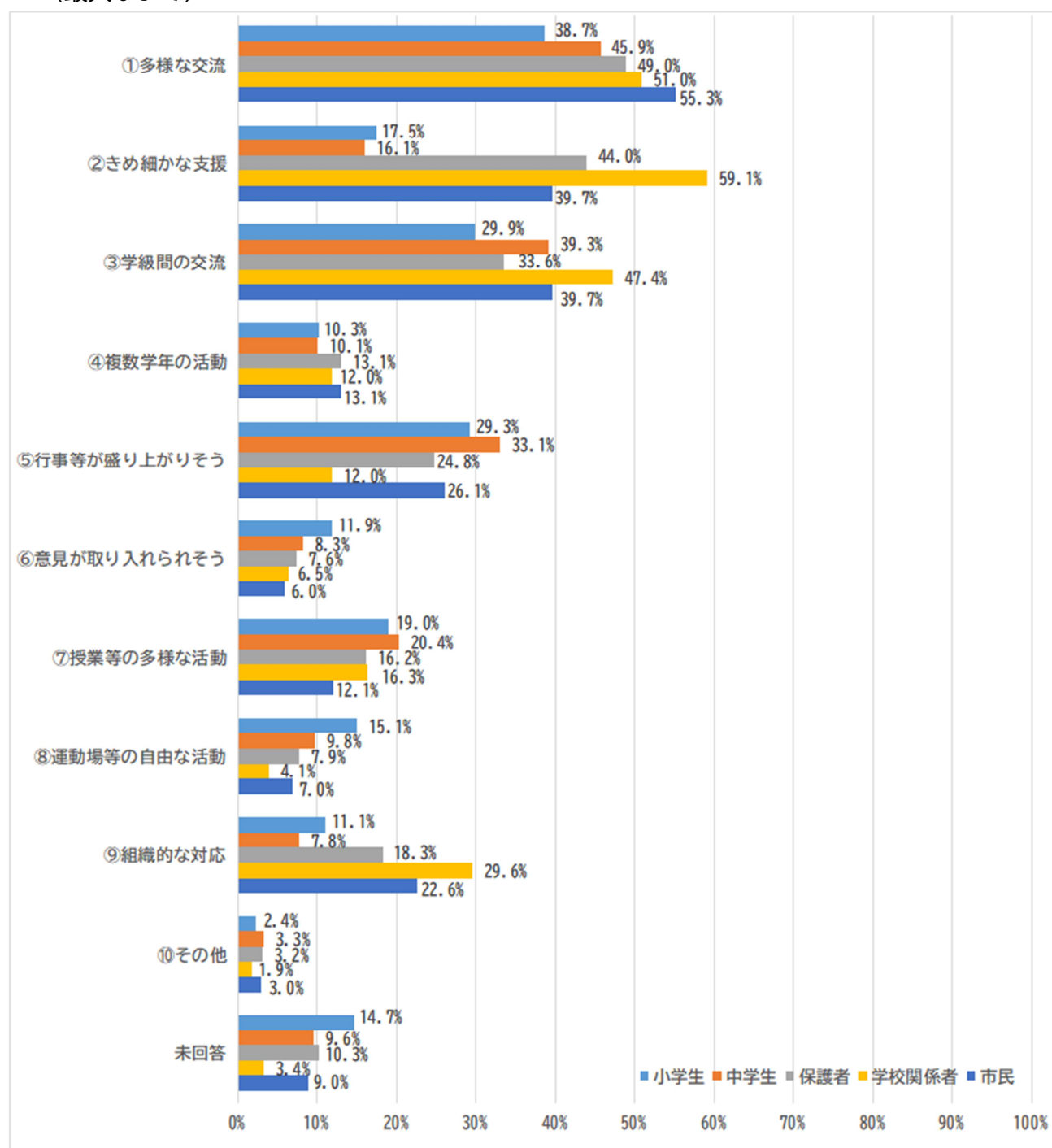
Q4-1. 1学年の学級（クラス）数（保護者・学校関係者・市民のみ）



Q4-2. 1学級の人数（保護者・学校関係者・市民のみ）



Q5. 前問のように答えた理由として、あなたの考えに近いものをえらんでください
(最大3まで)



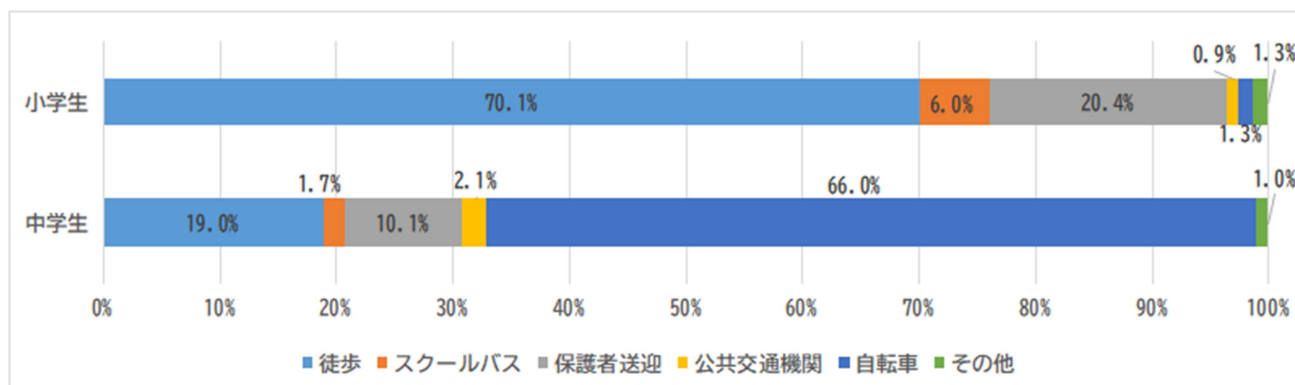
Q5 で「多くの友達ができ、多様な交流がありそう（人間関係が固定化されにくそう）」と回答した人は、下記の学級数とクラスメイト数を選択している。

		20%以上		10%以上		
		10人以下	11～20人	21人～30人	31人以上	一概に言えない
1学級	保護者	0.0%	1.8%	1.8%	0.0%	0.0%
	学校関係者	0.0%	1.4%	2.4%	0.0%	0.0%
	市民	0.0%	0.0%	4.9%	0.0%	0.0%
2学級	保護者	0.6%	31.2%	25.9%	0.6%	1.8%
	学校関係者	0.5%	26.4%	27.8%	0.5%	1.4%
	市民	0.0%	18.0%	52.5%	1.6%	1.6%
3学級以上	保護者	0.6%	5.9%	20.0%	1.2%	0.0%
	学校関係者	0.5%	6.1%	20.3%	1.4%	0.0%
	市民	0.0%	16.4%	52.5%	4.9%	0.0%
複式学級	保護者	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	学校関係者	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	市民	0.0%	1.6%	0.0%	0.0%	0.0%
一概に言えない	保護者	0.0%	2.4%	5.9%	0.6%	0.0%
	学校関係者	0.0%	2.4%	8.5%	0.5%	0.0%
	市民	0.0%	0.0%	4.9%	0.0%	0.0%

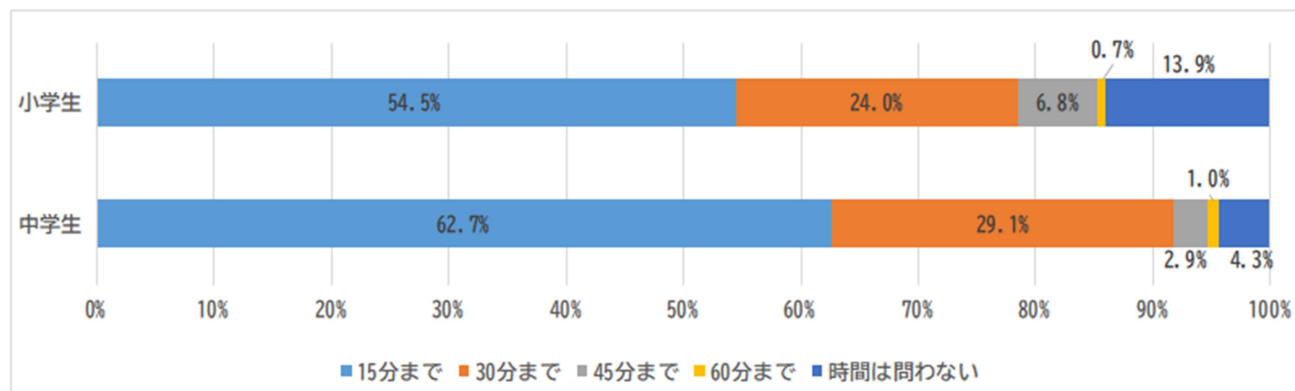
Q5 で「一人ひとりに応じた、きめ細かな支援が受けられること」と回答した人は、下記の学級数とクラスメイト数を選択している。

		20%以上		10%以上		
		10人以下	11～20人	21人～30人	31人以上	一概に言えない
1学級	保護者	0.0%	4.3%	1.0%	0.0%	0.0%
	学校関係者	0.4%	4.1%	1.6%	0.0%	0.0%
	市民	0.0%	4.9%	4.9%	0.0%	0.0%
2学級	保護者	1.0%	39.0%	10.0%	0.5%	0.5%
	学校関係者	0.8%	35.4%	11.8%	0.4%	0.4%
	市民	4.9%	24.6%	34.4%	0.0%	1.6%
3学級以上	保護者	0.5%	8.6%	10.0%	0.5%	0.0%
	学校関係者	0.4%	8.5%	9.8%	0.4%	0.0%
	市民	0.0%	16.4%	19.7%	0.0%	0.0%
複式学級	保護者	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	学校関係者	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	市民	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
一概に言えない	保護者	0.5%	14.8%	9.0%	0.0%	0.0%
	学校関係者	0.8%	15.0%	10.2%	0.0%	0.0%
	市民	0.0%	6.6%	11.5%	0.0%	0.0%

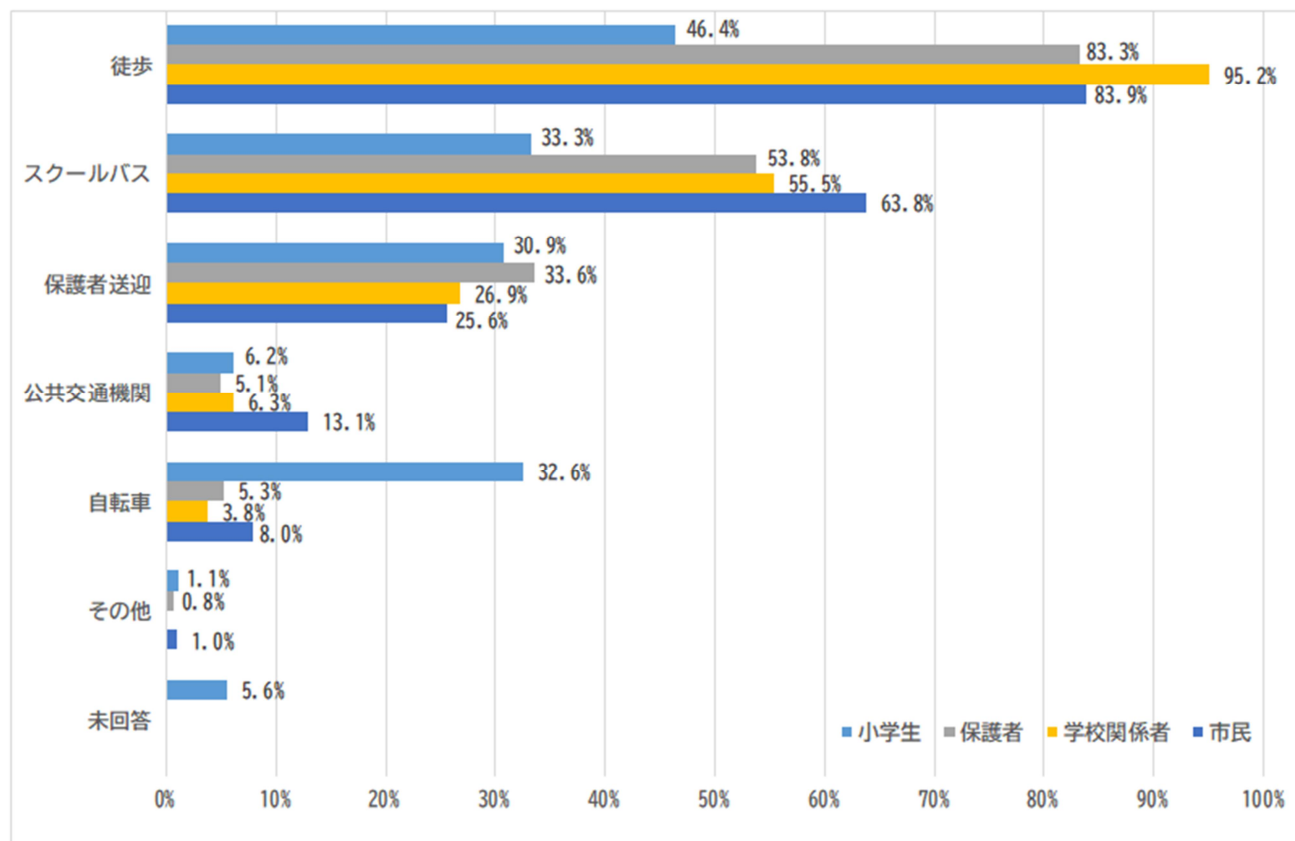
Q6. いつも、どのような方法で学校へ通っていますか（小中学生のみ）



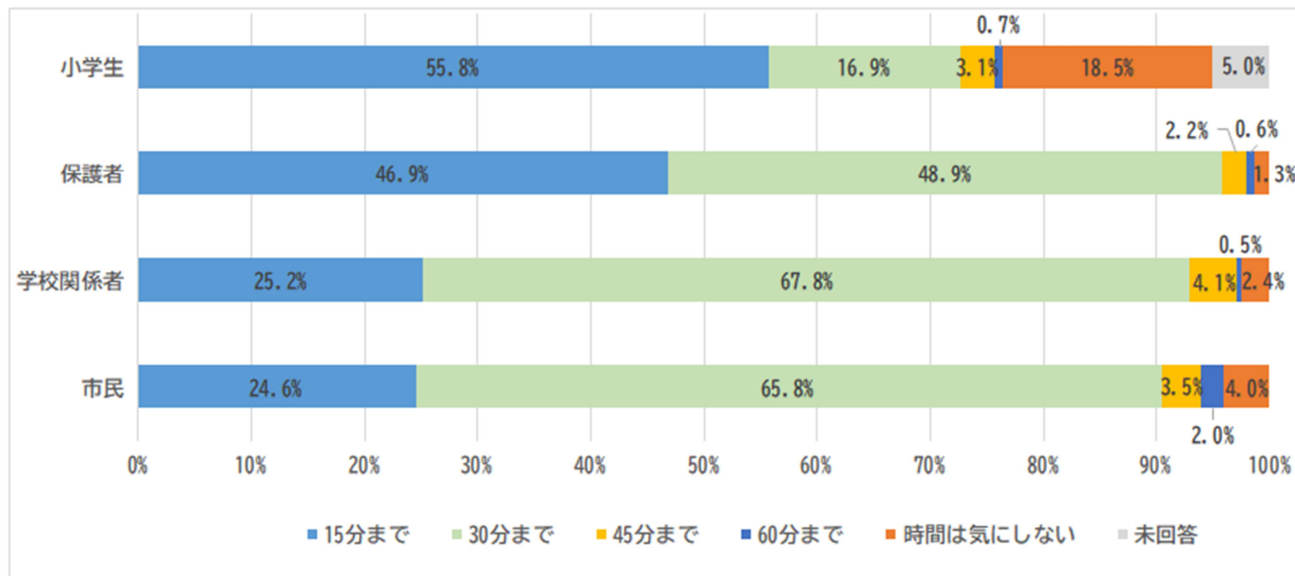
Q7. いつも、家を出てから学校につくまでの時間は、どのくらいですか（小中学生のみ）



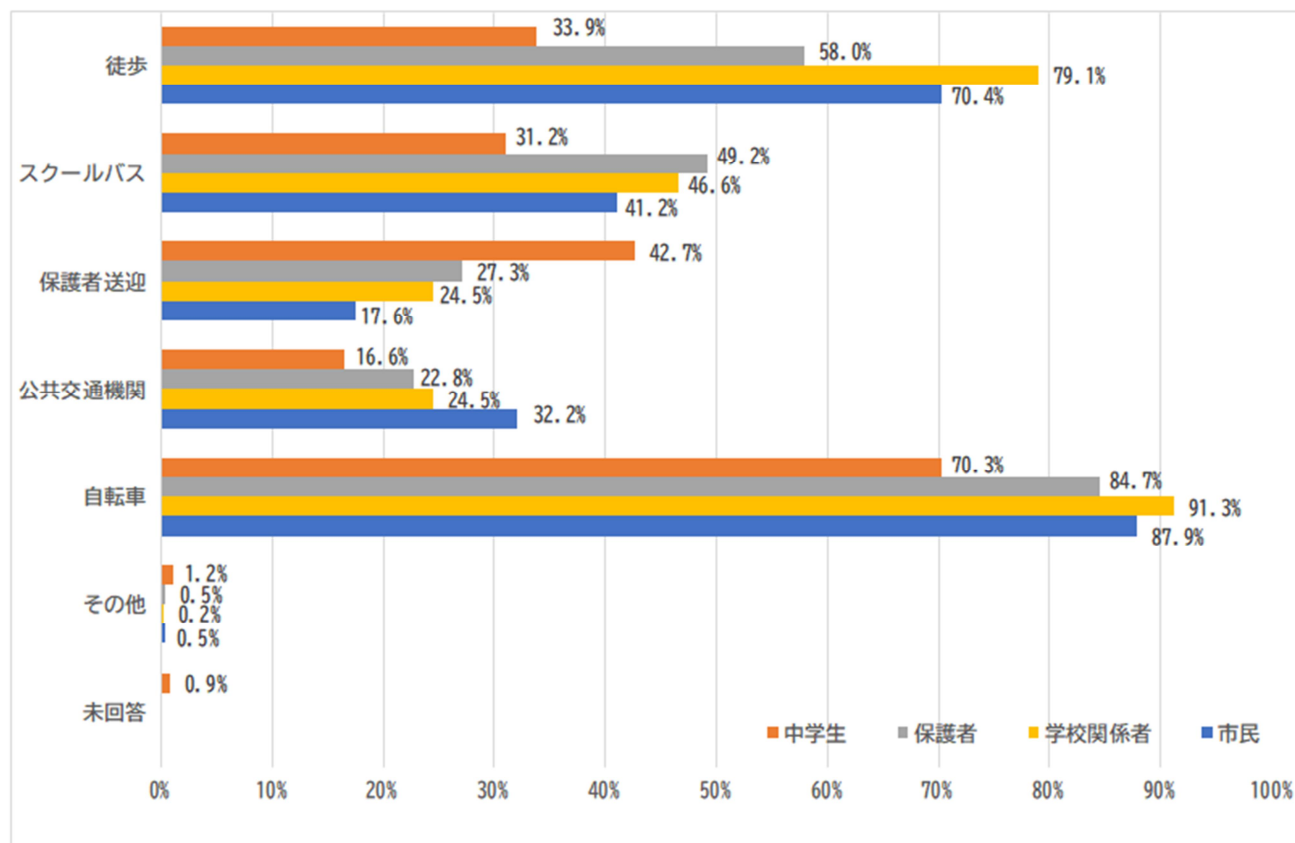
Q8. 小学生の通学方法として、どのような方法が良いと思いますか（いくつでも）



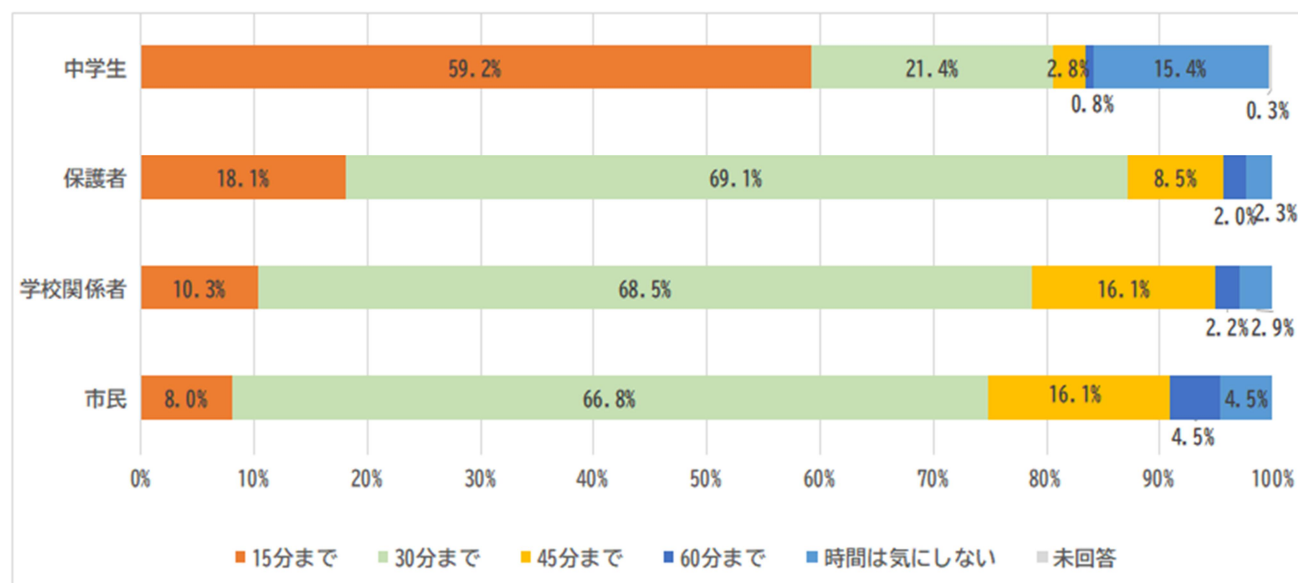
Q9. 小学生の片道の通学時間は、どのくらいが許容範囲だと思いますか。



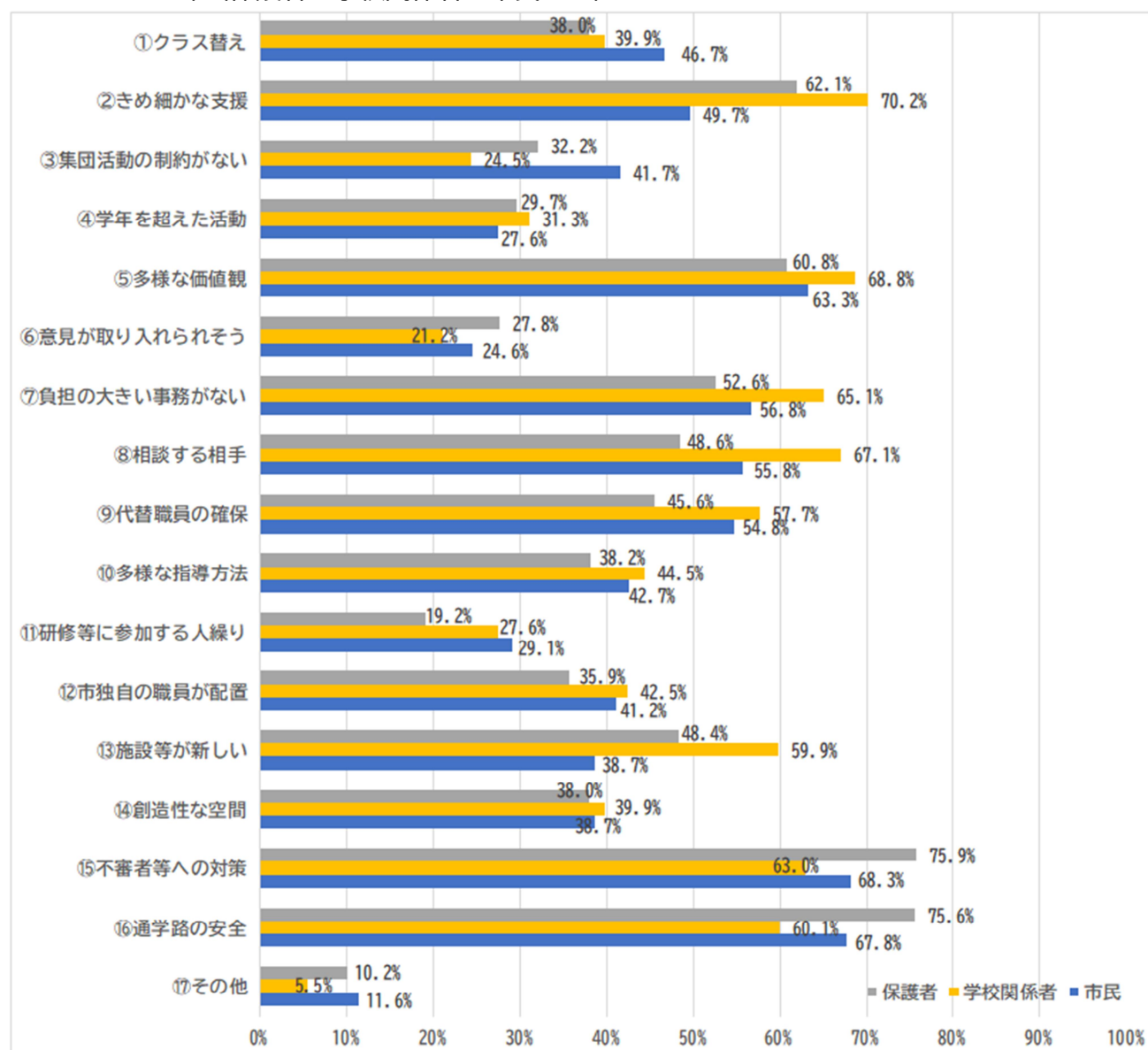
Q8. 中学生の通学方法として、どのような方法が良いと思いますか（いくつでも）



Q9. 中学生の片道の通学時間は、どのくらいが許容範囲だと思いますか



Q10. より豊かな学びの実現等のため、学習内容面のほかに重要なことは何だと思われますか。(いくつでも) (保護者・学校関係者・市民のみ)



構造化の結果について

学校施設の在り方に関するアンケート調査の設問「Q10 より豊かな学びの実現等のため、学習内容面のほかに重要なことは何だと思われますか。（いくつでも）」で分野ごとに回答が多かった項目について、構造化ワークショップなどを開催し、構造化作業を行った。

構造化作業により、より豊かな学びの実現に向けて検討すべき要点を洗い出した。

【構造化した項目】

●クラスに関すること

- ① 一人ひとりに応じた、きめ細かな支援が受けられること。
- ② 多様な価値観に触れさせられること。

●教職員に関すること

- ① 複数学年や複数教科、免許外教科の担当など、負担の大きい事務がないこと。
- ② 教材研究や生徒指導について相談する時間や相手がいること。

●施設等に関すること

- ① 不審者等への対策ができていること。
- ② 通学路の安全が確保されていること。

【ワークショップ開催日】

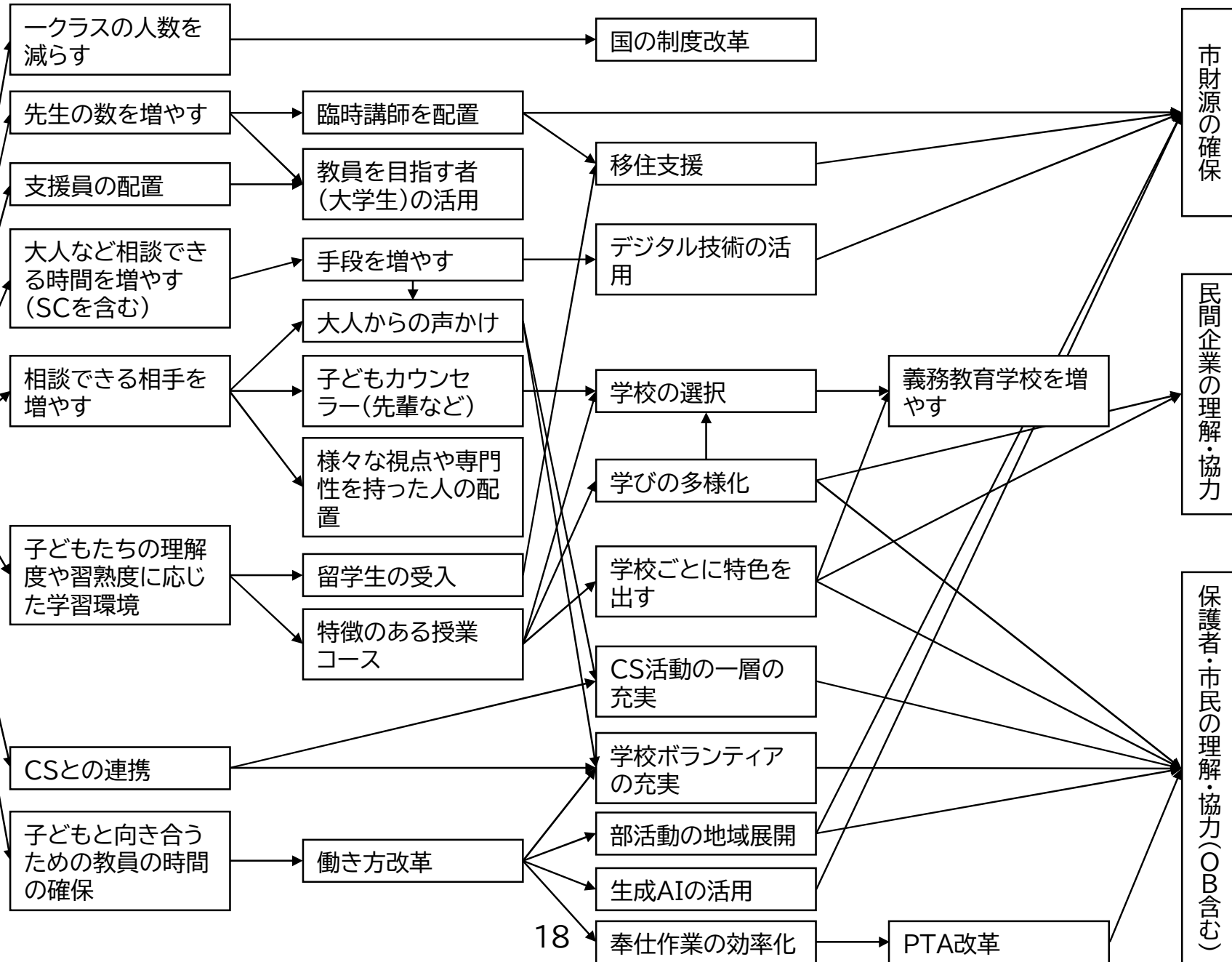
令和8年8月3日（月）および8月6日（木）

【参加メンバー】

検討会議委員、市教委事務局職員

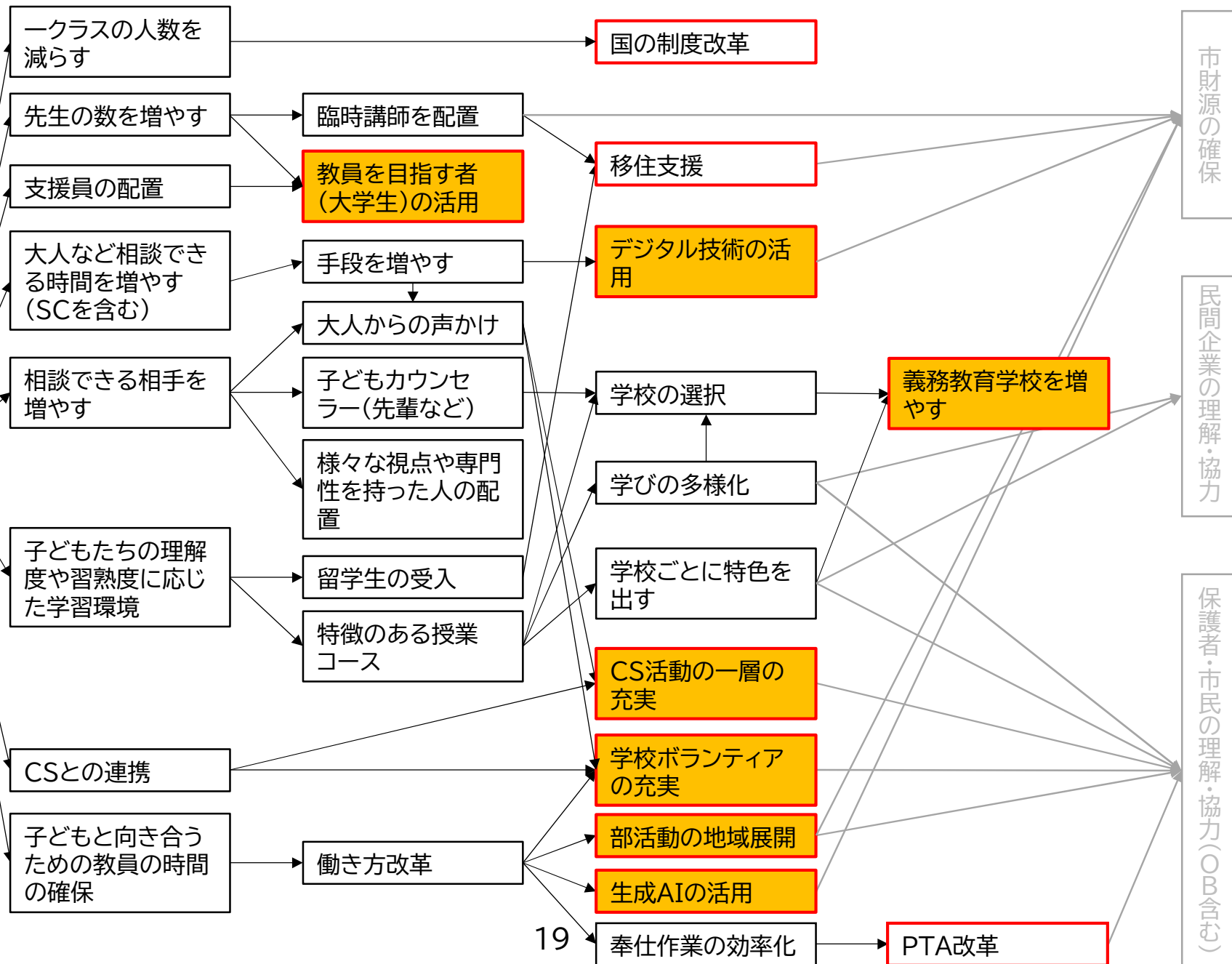
どうすれば実現できるか！？ の掘り下げ

一人ひとりに応じた、きめ細かな支援が受けられること



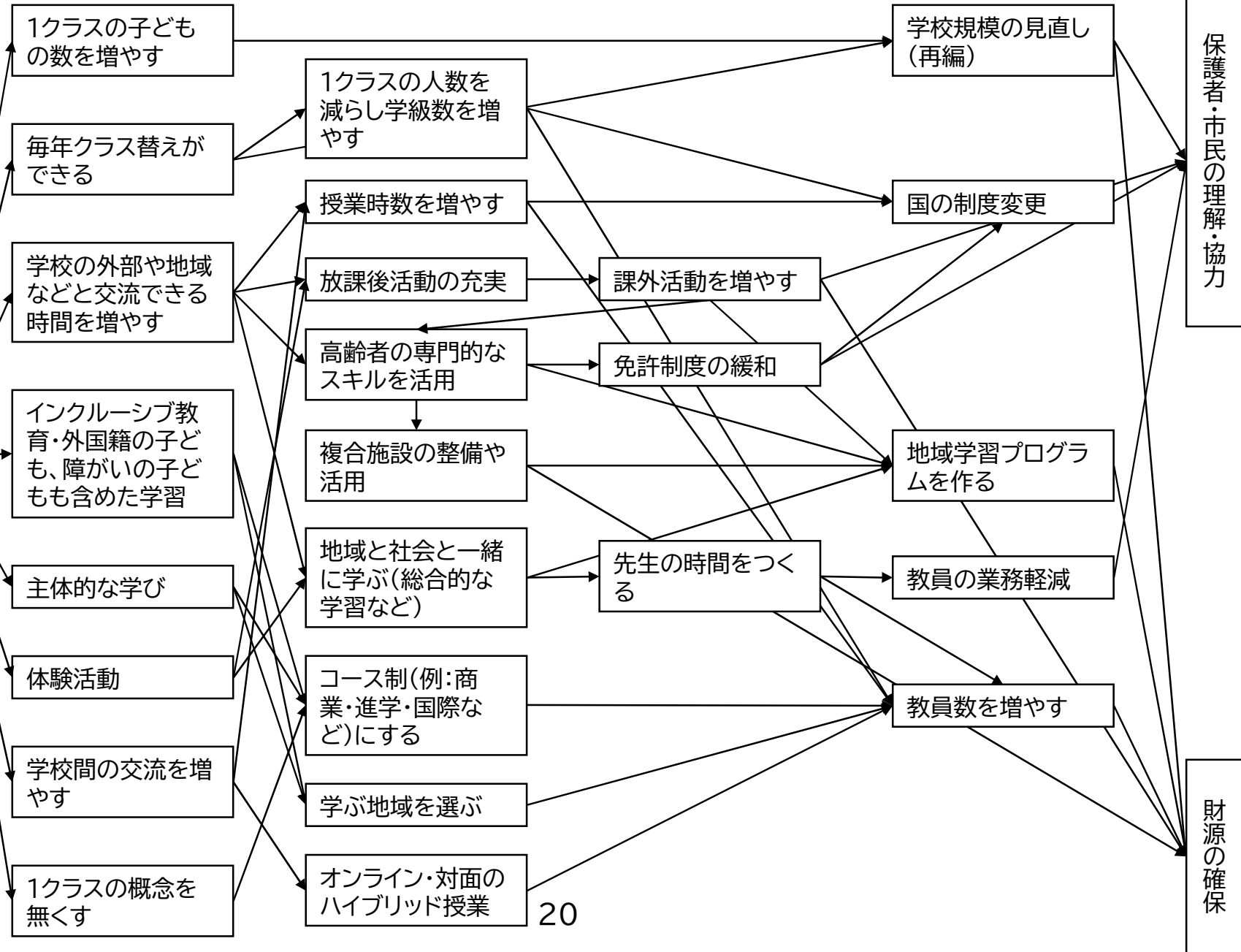
どうすれば実現できるか！？ の掘り下げ

一人ひとりに応じた、きめ細かな支援が受けられること



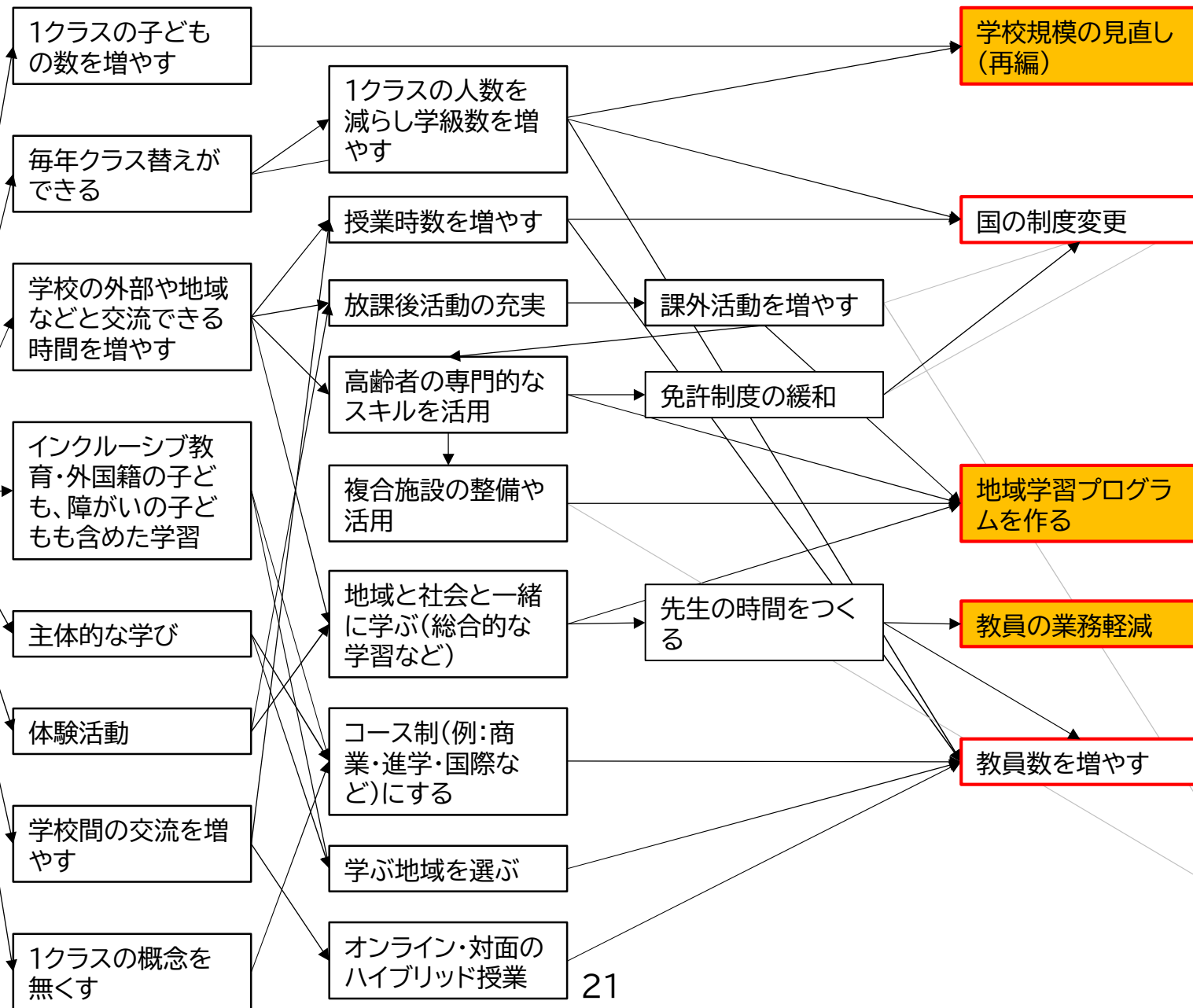
どうすれば実現できるか！？ の掘り下げ

多様な価値観に触れさせられること



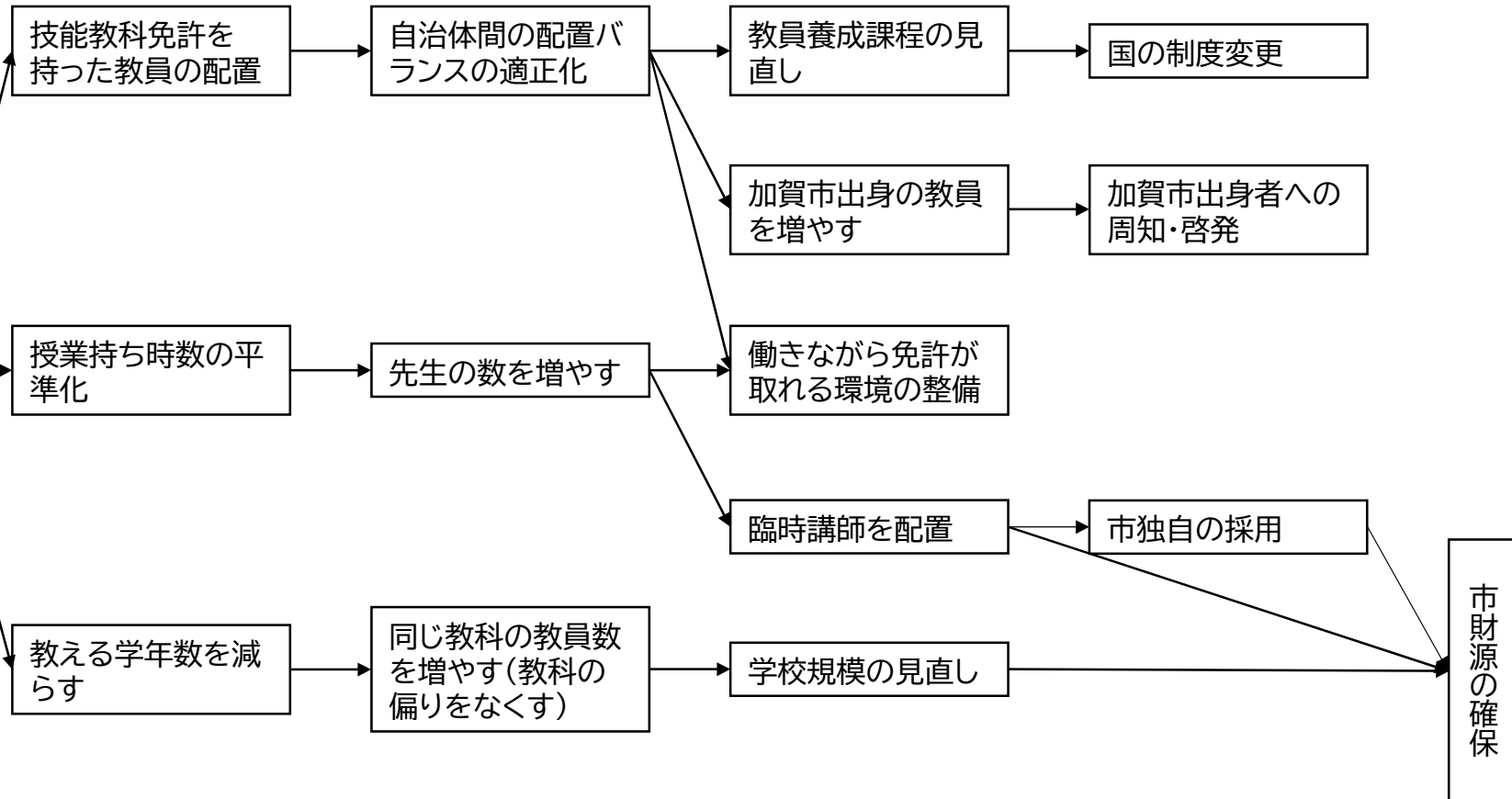
どうすれば実現できるか！？ の掘り下げ

多様な価値観に触れさせられること



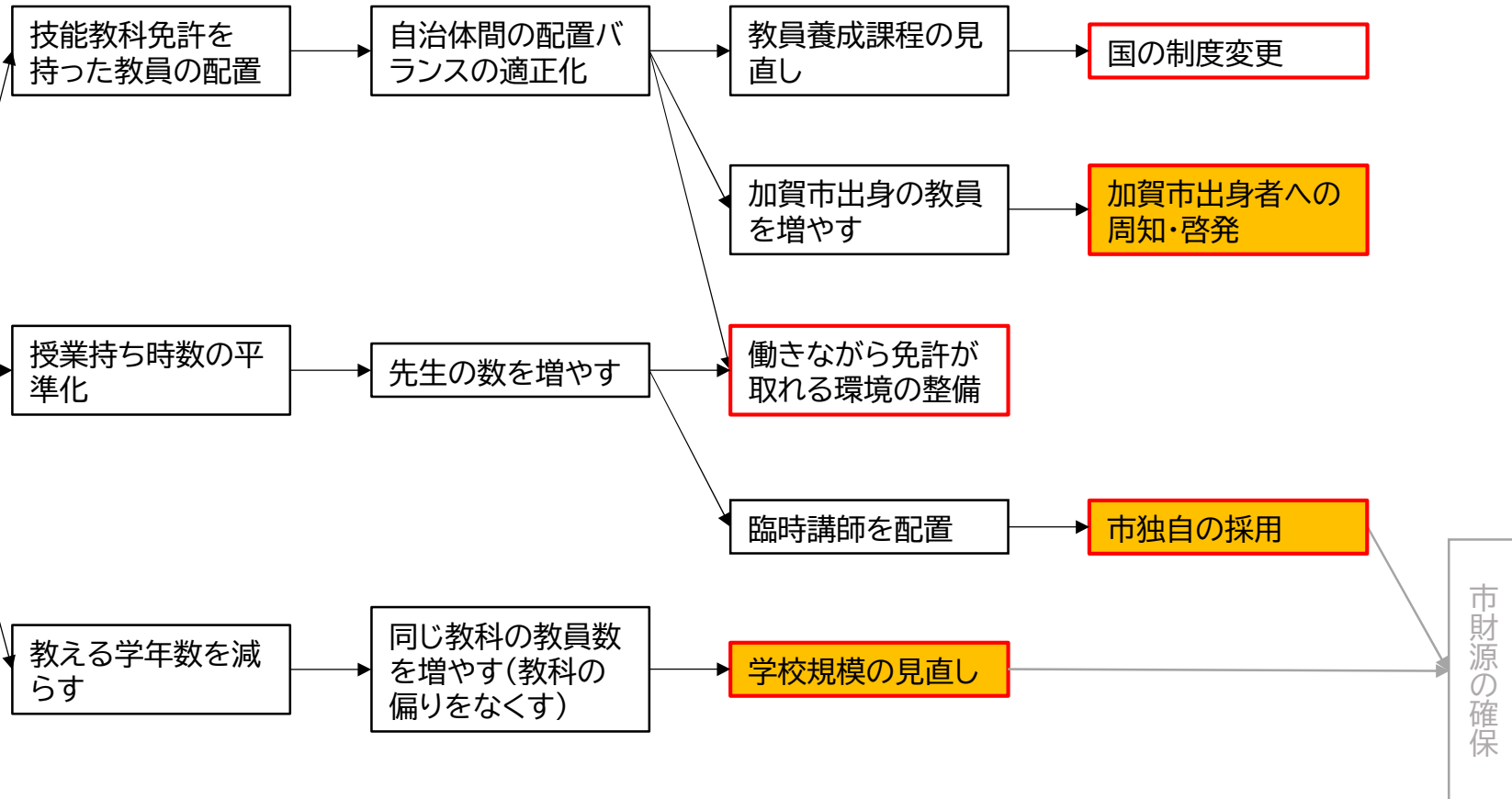
どうすれば実現できるか！？ の掘り下げ

複数学年や複数教科、免許外教科の担当など、
負担の大きい事務がないこと



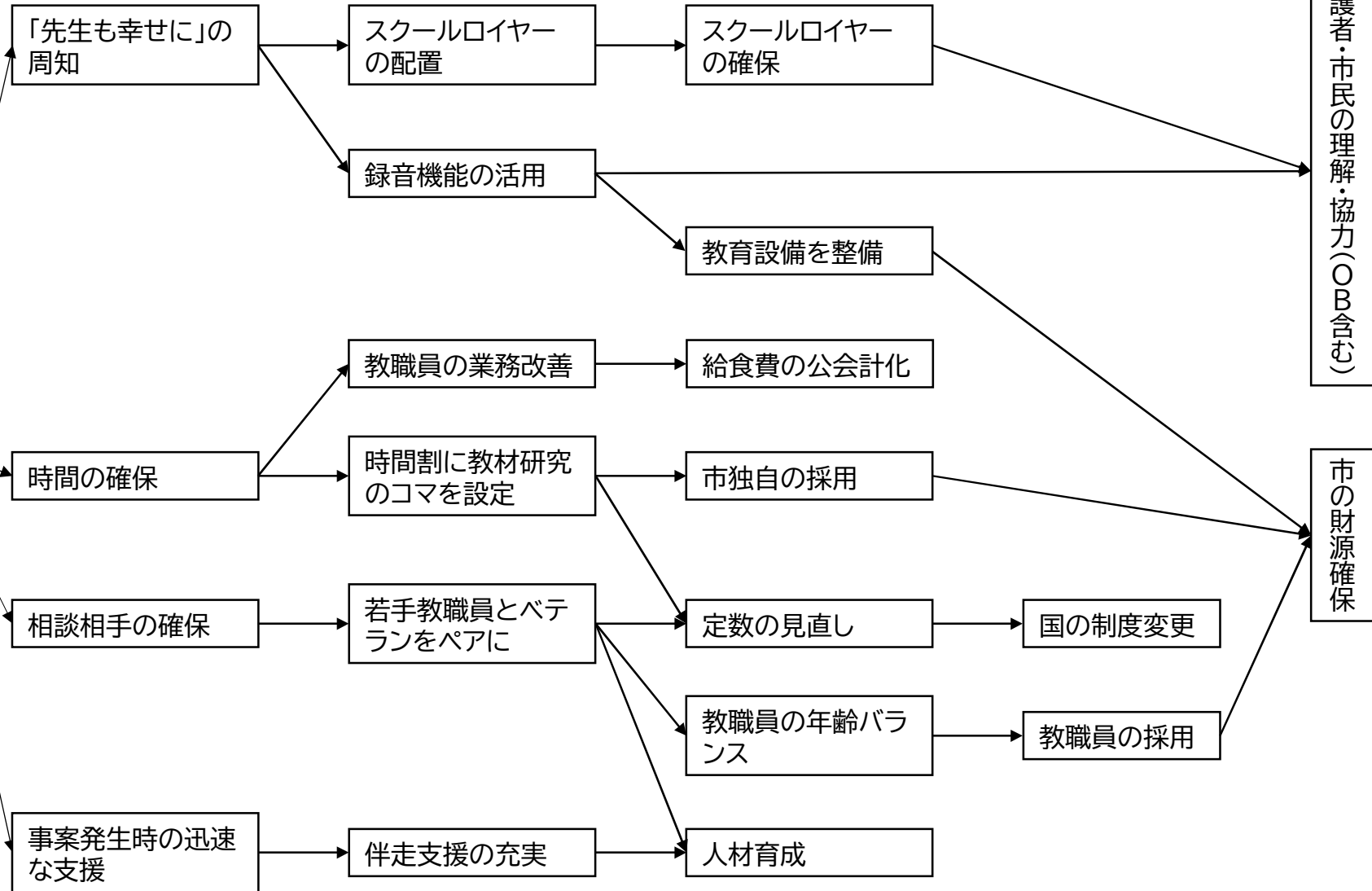
どうすれば実現できるか！？ の掘り下げ

複数学年や複数教科、免許外教科の担当など、
負担の大きい事務がないこと



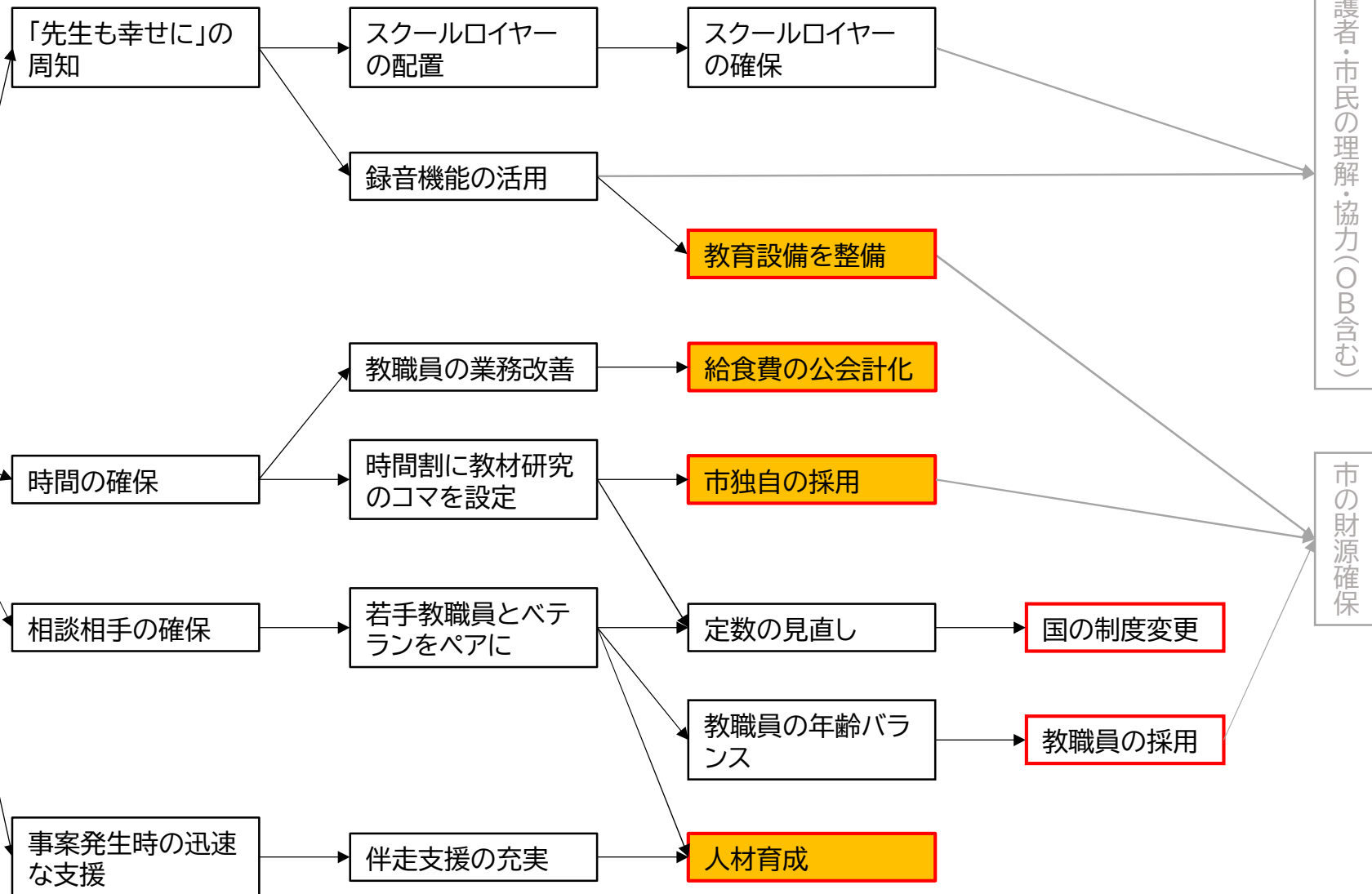
どうすれば実現できるか！？ の掘り下げ

教材研究や生徒指導について相談する時間や相手がいること



どうすれば実現できるか！？ の掘り下げ

教材研究や生徒指導について相談する時間や相手がいること



どうすれば実現できるか！？ の掘り下げ

不審者等への対策ができていないこと

- 防犯カメラの設置
- 防犯備品(刺す又、催涙スプレーなど)の配備
- 建物入口や門の施錠
- 敷地を高い塀・フェンスで囲う
- 校舎内に安全な避難場所を作る
- 死角をなくす。(職員室から見やすくする)
- 来校者管理の徹底(受付・名札・入退校記録・動線)
- 見守りの強化
- 緊急通報体制の確立
- 想定訓練の実施

- 通報ボタンの整備
- 校内巡回警備員の配置
- 登下校時のボランティアの配置

防犯施設・設備を整備

市の財源確保

市民・保護者の理解と協力

警察との連携強化

どうすれば実現できるか！？ の掘り下げ

不審者等への対策ができていること

- 防犯カメラの設置
- 防犯備品(刺す又、催涙スプレーなど)の配備
- 建物入口や門の施錠
- 敷地を高い塀・フェンスで囲う
- 校舎内に安全な避難場所を作る
- 死角をなくす。(職員室から見やすくする)
- 来校者管理の徹底(受付・名札・入退校記録・動線)
- 見守りの強化
- 緊急通報体制の確立
- 想定訓練の実施

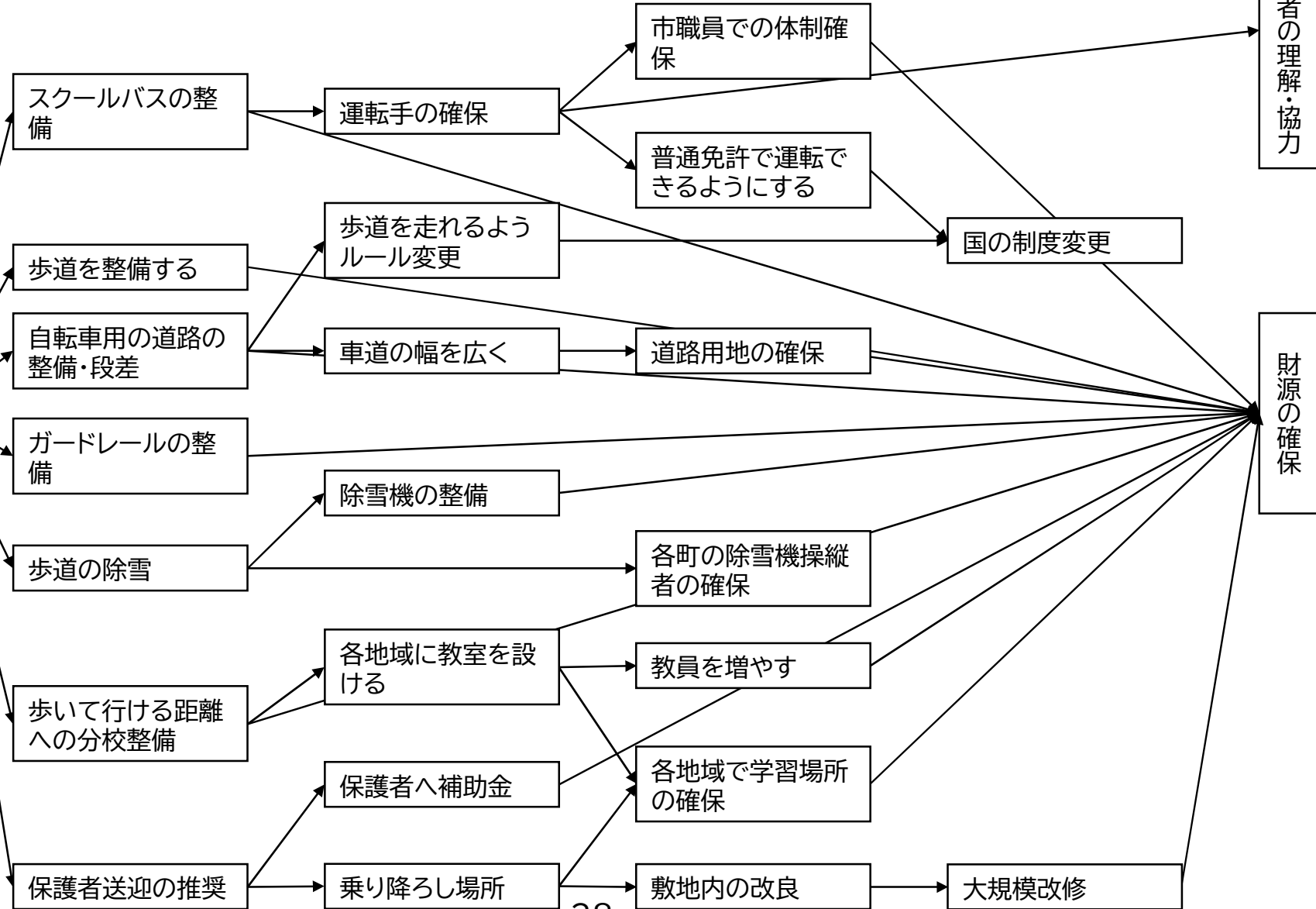
- 通報ボタンの整備
- 校内巡回警備員の配置
- 登下校時のボランティアの配置

防犯施設・設備を整備

- 市の財源確保
- 市民・保護者の理解と協力
- 警察との連携強化

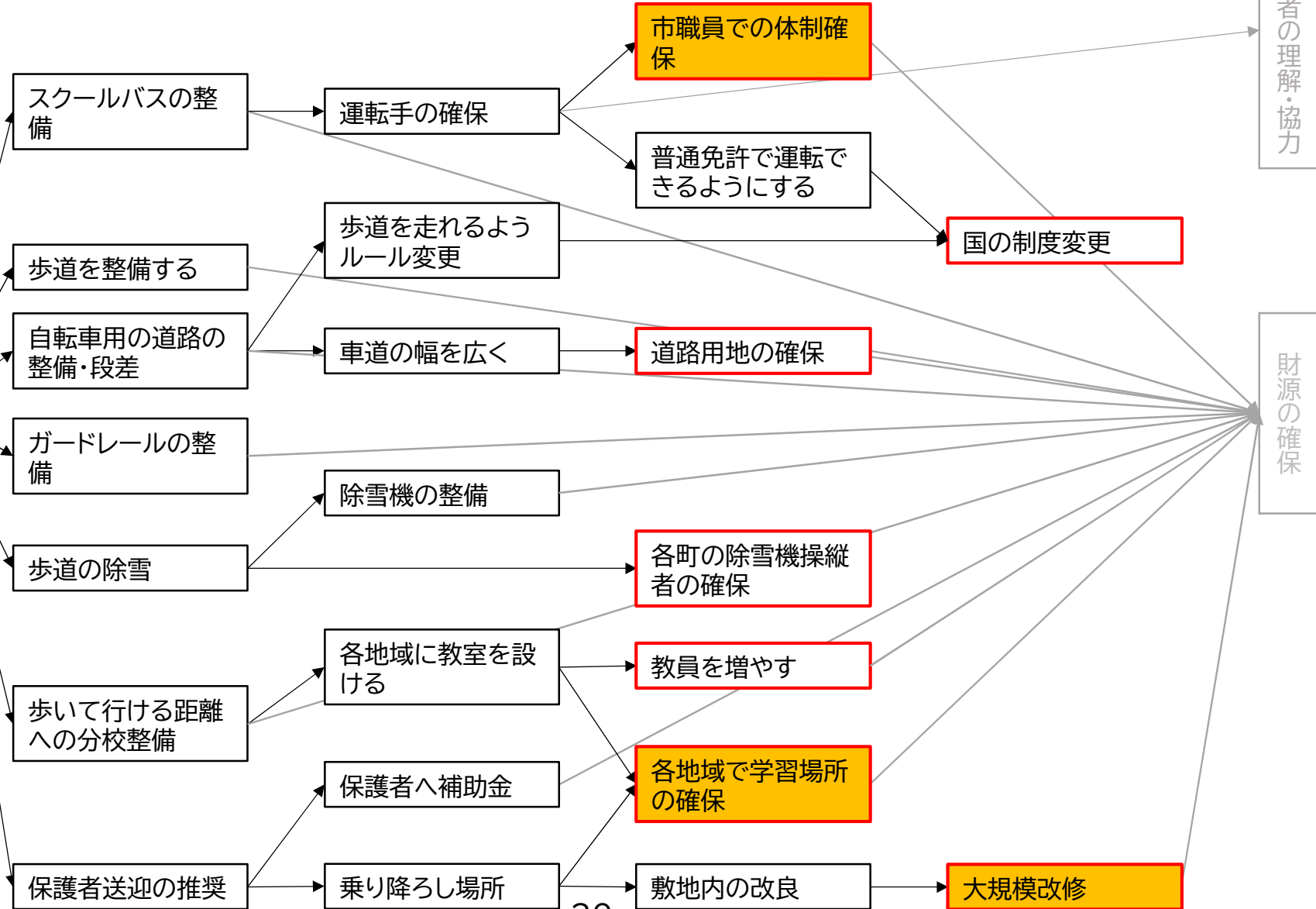
どうすれば実現できるか！？ の掘り下げ

通学路の安全が確保されていること



どうすれば実現できるか！？ の掘り下げ

通学路の安全が確保されていること



学校をより良くするための構造化の結果

学校施設に関すること

学校規模の見直し
(再編)

大規模改修

防犯施設・設備の
整備

教育設備の整備

各地域で学習場所
の確保

義務教育学校を増
やす

業務に関すること

教員の業務軽減

給食費の公会計化

地域学習プログラ
ムを作る

デジタル技術の活
用

生成AIの活用

想定訓練の実施

部活動の地域展開

「人」に関すること

市独自の教職員の
採用

教員を目指す者
(大学生)の活用

市職員での体制確
保

校内巡回警備員の
配置

人材育成

登下校時のボラン
ティアの配置

CS活動の一層の
充実

学校ボランティア
の充実

加賀市出身者への
周知・啓発